



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年2月10日

上場会社名 株式会社 加藤製作所
 コード番号 6390 URL <http://www.kato-works.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 公康
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務統括部長 (氏名) 小西 二郎
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3458-1130

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	39,114	29.5	2,261		1,988		2,320	
2020年3月期第3四半期	55,464	6.4	260		450		751	

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,052百万円 (%) 2020年3月期第3四半期 1,583百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	198.06	
2020年3月期第3四半期	64.13	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	118,250	53,324	44.3
2020年3月期	125,393	55,569	43.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 52,360百万円 2020年3月期 54,556百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		15.00		15.00	30.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,000	23.0	2,600		2,500		2,700		230.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	11,743,587 株	2020年3月期	11,743,587 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	26,250 株	2020年3月期	26,022 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	11,717,502 株	2020年3月期3Q	11,717,651 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともない、経済活動や消費活動が低迷し、厳しい状況が続いております。海外各国においても、新型コロナウイルス感染症は依然として拡大傾向で先行き不透明感が続いております。

このような状況下、当社グループは、新型コロナウイルス感染症の予防対策、生産調整や一時帰休の実施による在庫調整と経費削減を継続して行っております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は391億1千4百万円(前年同期比70.5%)となり前年同期を大幅に下回りました。損益につきましては、営業損失22億6千1百万円(前年同期は営業損失2億6千万円)、経常損失19億8千8百万円(前年同期は経常損失4億5千万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は23億2千万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失7億5千1百万円)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

① 日本

国内向け建設機械は、インフラ整備や自然災害による復興関連事業など公共投資は底堅く推移しておりますが、民間設備投資は新型コロナウイルス感染症の影響により減少傾向となり、需要は減少しました。海外向け建設機械は、新型コロナウイルス感染症の影響によるインフラ投資の減少や、経済活動の低迷により需要は減少しました。

日本の売上高は338億4千4百万円(前年同期比71.7%)となり、セグメント損失は21億7千3百万円(前年同期はセグメント損失12億8千3百万円)となりました。

② 中国

中国の油圧ショベル等は、新型コロナウイルス感染症を抑えられ、景気は戻り始めておりますが、現地メーカーによる販売価格の引き下げに苦戦を強いられ売上高は大幅に減少しました。

中国の売上高は51億8千5百万円(前年同期比65.0%)となり、セグメント利益は2億1百万円(前年同期比19.1%)となりました。

③ その他

その他は、新型コロナウイルス感染症の影響により欧州を中心に依然として厳しい状況が続いております。

その他の売上高は19億2千8百万円(前年同期比56.1%)となり、セグメント損失は5億2千万円(前年同期はセグメント損失4億8千1百万円)となりました。

主要品目別売上高の状況は次のとおりであります。

① 建設用クレーン

国内は、新型コロナウイルス感染症の影響により輸出中古市場の停滞が続き、新車の買い替え需要は減少しました。国内建設用クレーンの売上高は191億6千8百万円(前年同期比66.0%)となりました。海外も、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により各地域で需要は減少しました。海外建設用クレーンの売上高は30億4千6百万円(前年同期比75.5%)となりました。よって、建設用クレーンの売上高は222億1千5百万円(前年同期比67.2%)となりました。

② 油圧ショベル等

国内は、新型コロナウイルス感染症の影響により建設用クレーンと同様に需要は減少しました。国内油圧ショベル等の売上高は74億9千万円(前年同期比83.5%)となりました。海外は、中国が新型コロナウイルス感染症を抑えられ、景気は戻り始めておりますが、現地メーカーによる販売価格の引き下げに苦戦を強いられ売上高は大幅に減少し、欧州は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で営業活動が制限されたことにより売上高は大幅に減少しました。海外油圧ショベル等の売上高は83億8千8百万円(前年同期比65.5%)となりました。よって、油圧ショベル等の売上高は158億7千9百万円(前年同期比72.9%)となりました。

③ その他

その他の売上高は10億2千万円(前年同期比164.5%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末の1,253億9千3百万円に比べ71億4千3百万円減少し、1,182億5千万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加17億3千9百万円、たな卸資産の増加26億5千7百万円と受取手形及び売掛金の減少115億2千4百万円によるものであります。

(負債の状況)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末の698億2千4百万円に比べ48億9千8百万円減少し、649億2千5百万円となりました。これは主として、短期借入金の増加34億5百万円、長期借入金の増加23億4千1百万円と支払手形及び買掛金の減少18億1千7百万円、電子記録債務の減少55億3千4百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少10億4千3百万円によるものであります。

(純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末の555億6千9百万円に比べ22億4千4百万円減少し、533億2千4百万円となりました。これは主として、利益剰余金の減少24億9千6百万円と為替換算調整勘定の増加2億5千3百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年11月12日に公表いたしました、通期の連結業績予想を変更しておりません。

なお、売上高は徐々に回復するものと見込んでおりますが、新型コロナウイルス感染症の収束時期につきましては、依然として不透明であることから、今後の感染拡大や収束の状況等によっては、当社グループの業績及び事業環境に大きな影響を及ぼす可能性があります。今後の動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合は、速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,101	12,840
受取手形及び売掛金	39,284	27,759
たな卸資産	45,291	47,949
その他	1,790	1,696
貸倒引当金	△4,061	△3,970
流動資産合計	93,406	86,275
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,213	13,434
機械装置及び運搬具（純額）	3,654	3,319
土地	6,798	6,857
建設仮勘定	1,238	622
その他（純額）	1,237	1,174
有形固定資産合計	25,142	25,409
無形固定資産	467	440
投資その他の資産		
投資有価証券	2,349	2,375
破産更生債権等	2,491	2,488
繰延税金資産	3,023	2,759
その他	969	955
貸倒引当金	△2,456	△2,453
投資その他の資産合計	6,376	6,125
固定資産合計	31,987	31,975
資産合計	125,393	118,250

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,201	5,383
電子記録債務	13,902	8,368
短期借入金	9,364	12,770
1年内償還予定の社債	524	524
1年内返済予定の長期借入金	8,353	7,310
未払法人税等	179	31
賞与引当金	567	241
製品保証引当金	1,125	1,051
その他	2,586	1,522
流動負債合計	43,806	37,203
固定負債		
社債	4,136	3,684
長期借入金	20,622	22,964
退職給付に係る負債	697	607
その他	562	466
固定負債合計	26,018	27,722
負債合計	69,824	64,925
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,935	2,935
資本剰余金	7,109	7,109
利益剰余金	43,539	41,042
自己株式	△38	△38
株主資本合計	53,546	51,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	26
為替換算調整勘定	1,126	1,380
退職給付に係る調整累計額	△118	△96
その他の包括利益累計額合計	1,010	1,310
非支配株主持分	1,012	964
純資産合計	55,569	53,324
負債純資産合計	125,393	118,250

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	55,464	39,114
売上原価	48,663	35,135
売上総利益	6,801	3,978
販売費及び一般管理費	7,061	6,240
営業損失(△)	△260	△2,261
営業外収益		
受取利息	13	52
割賦販売受取利息	111	58
受取配当金	50	17
持分法による投資利益	0	19
受取賃貸料	—	81
貸倒引当金戻入額	13	204
製品保証引当金戻入額	—	75
その他	171	303
営業外収益合計	359	812
営業外費用		
賃貸費用	—	274
支払利息	169	170
為替差損	257	26
その他	121	66
営業外費用合計	549	538
経常損失(△)	△450	△1,988
特別利益		
固定資産売却益	230	108
特別利益合計	230	108
特別損失		
固定資産売却損	4	—
固定資産除却損	38	—
工場移転費用	506	—
特別損失合計	549	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△769	△1,879
法人税、住民税及び事業税	318	193
法人税等調整額	△357	277
法人税等合計	△38	470
四半期純損失(△)	△730	△2,350
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	21	△29
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△751	△2,320

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△730	△2,350
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	22
為替換算調整勘定	△749	251
退職給付に係る調整額	△113	22
持分法適用会社に対する持分相当額	0	1
その他の包括利益合計	△853	297
四半期包括利益	△1,583	△2,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,543	△2,020
非支配株主に係る四半期包括利益	△40	△31

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の拡大による影響について、第1四半期は当社グループも主要な工場の稼働を停止するなど、経済活動が著しく停滞し大きな影響を受けておりましたが、第2四半期以降、本格的な回復には至っていないものの、今後も徐々に回復していくものと予想しております。しかしながら、不確実な要素が多く、現時点において予測することは困難であります。当社グループでは、現時点で入手可能な情報等に基づき、新型コロナウイルス感染症の影響が当連結会計年度中は続く可能性があるものと仮定して、会計上の見積りを行っております。

なお、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した内容から、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	日本	中国	その他 (注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	44,077	7,964	3,422	55,464	—	55,464
セグメント間の 内部売上高又は振替高	3,100	9	12	3,122	△3,122	—
計	47,177	7,974	3,435	58,587	△3,122	55,464
セグメント利益又は損失(△)	△1,283	1,052	△481	△712	452	△260

(注) 1 タイ、イタリア、オランダを含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額にはセグメント間取引消去411百万円及びセグメント間未実現利益消去40百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 3
	日本	中国	その他 (注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	32,205	5,177	1,731	39,114	—	39,114
セグメント間の 内部売上高又は振替高	1,639	8	196	1,844	△1,844	—
計	33,844	5,185	1,928	40,959	△1,844	39,114
セグメント利益又は損失(△)	△2,173	201	△520	△2,492	230	△2,261

(注) 1 タイ、イタリア、オランダ、アメリカを含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額にはセグメント間取引消去388百万円及びセグメント間未実現利益消去△157百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。